



株式会社ぐるなび

管理本部 人事部門 人事グループ
グループ長
杉山 洋さん

企業プロフィール

- 事業内容：パソコン・携帯電話などによる飲食店のインターネット検索サービスその他関連する事業
- 従業員数：1,283名(2011年3月31日現在)
- URL：<http://www.gnavi.co.jp>

社員から関心の高い プラスワンの休暇

実践!

こうすればできる!こうすればのびる!

- ① 休暇を取得しやすい雰囲気を醸成する
- ② 取得期間に幅を持たせる
- ③ 新入社員にしっかりと説明する

休暇を取得しやすい雰囲気を醸成

事業開始から16年が経つ現在、当社では2009年からの3年間で「第2創業期」と位置づけて、外食のオフィシャルサイトとして、世界に誇れる日本の食文化を守り育てることに精進しております。昼夜を問わず営業されている飲食店様がお客様であるため、時にはお店の営業が終了した後に商談のお時間をいただくこともあります。社員一同、志を高くもって仕事に取り組んでいます。部署や担当業務によって休暇取得状況にバラツキが出やすくなりがちですので、会社としては、有給休暇の取得を奨励する日を設けるなど会社全体として休暇を取得しやすい雰囲気の醸成に積極的に取り組んでいます。

取得しやすいように配慮

「ブライダルデー休暇」は2005年に制定した休暇制度です。ユニークな休暇制度として当時の総務部門で検討し導入しました。

通常の年次有給休暇とは別に年間1日の休暇を取得できる特別枠の休暇です。結婚の翌年から取得でき、原則として役所へ婚姻届を提出していることが取得要件です。しかし、結婚

記念日は婚姻届による入籍日と一致しているとも限りませんので、入籍日と挙式日のどちらかを選ぶように配慮し、自由度を高めています。加えて、取得期間については、当日だけではなく、前後1週間の幅を持たせています。

取得状況をみると、土日とつなげ、月曜日が金曜日に取得する社員の割合が高いようです。

良いイメージが浸透を後押し

初回のブライダルデー休暇取得の際には、既婚であることを証明するための書類提出などがありますが、次回以降は他の休暇取得との大きな違いはありません。休暇申請はweb勤怠システムで行い、上司の承認を得て休暇取得とな



管理本部 管理部門
販売管理グループ グループ長
飯塚 力大さん
(ブライダルデー休暇)

年次有給休暇より 使いやすい ブライダルデー休暇

2005年に社長からブライダルデー休暇制度導入が発表された際は、ネーミングがいかにレクリエーション的なので、「取りにくそうな休暇だなあ」というのが正直な私の第一印象でした。結婚記念日を理由に休むのは周りに申し訳ない気持ちになるのではないかと感じたのです。ところが、私の第一印象に反して、この休暇制度の定着は早かったように思います。私自身、ブライダルデー休暇で休む社員に対し、家庭を大切にするという良いイメージを持ちましたし、愛妻家のイメージとは縁がなさそうな男性社員もしっかりと取得しているのを見て、取りにくいという印象はなくなりました。私自身も2009年に結婚してからは、必ずこの休暇を取得しています。休暇の申請をすると職場のメ

ンバーから必ず「どこへ旅行するの」と聞かれます。少し気恥ずかしいのですが、休暇取得の話題が社内のコミュニケーションにつながるなどいい影響があると感じています。ブライダルデーにちなんだ休日の使い方をすることで、胸を張って申請しやすいですし、休む日が職場のメンバーにも事前にわかっているので仕事の調整もしやすいです。

記念日ならではの食事を楽しむ

独身時代は、「不公平な制度だなあ」とも感じていたのですが、結婚した翌年から早速取得しました。毎年、金曜日にブライダルデー休暇を取得して連休にしています。せっかくの結婚記念日なので、最初の年は、式を挙げた記念のホテルで食事と宿泊をして思い出の日にふさわしい休暇となりました。妻も「いい会社ね」と喜んでいました。次の年も同じホテルでお寿司をゆっくり味わいました。記念日ですから、普段よりもワンランク上の美味しいものを食べることにしています。普段は行かないお店に行くきっかけにもなっています。そのことがリフレッシュにもなりますし、飲食店に行くことが自分自身の業務にも大変に役立っています。

るのですが、web勤怠システムの休暇申請のプルダウンメニューにも「有給休暇」「慶弔休暇」「特別休暇」などと並んで「ブライダルデー休暇」の項目があるため、ブライダルデー休暇が有給休暇と同じ休暇制度のひとつとして認識されているようです。同時に、プルダウンメニューを見て「こんな休暇制度があるんだ」と周知されることにつながっているのかもしれませんが。

また、休暇取得にあたって業務の引継ぎや調整を行う中で「この日はブライダルデー休暇をいただきます」といった会話から周知されることも少なくないようです。部署内での「今日、〇〇さんはブライダルデー休暇です」という報告を耳にするたび、私自身、気持ちが温かくなりますので、そのイメージの良さが社員への浸透を後押ししていると個人的に感じています。

ユニークで関心の高い休暇

当社は中途入社社員向けに導入研修を毎月実施しております。研修の中で、福利厚生

の説明に時間を割き、必ずこのブライダルデー休暇について説明していますので、中途入社社員にもきちんと周知できていると思います。研修中もブライダルデー休暇について触れると、受講している社員から何らかのリアクションがありますし、導入研修の最終日に聞く懇親会の中でも、「ブライダルデー休暇って取得している人はいるのですか?」、「今からでも取れるのでしょうか?」という質問がたびたび出ますので、社員の関心の高さを実感しています。

